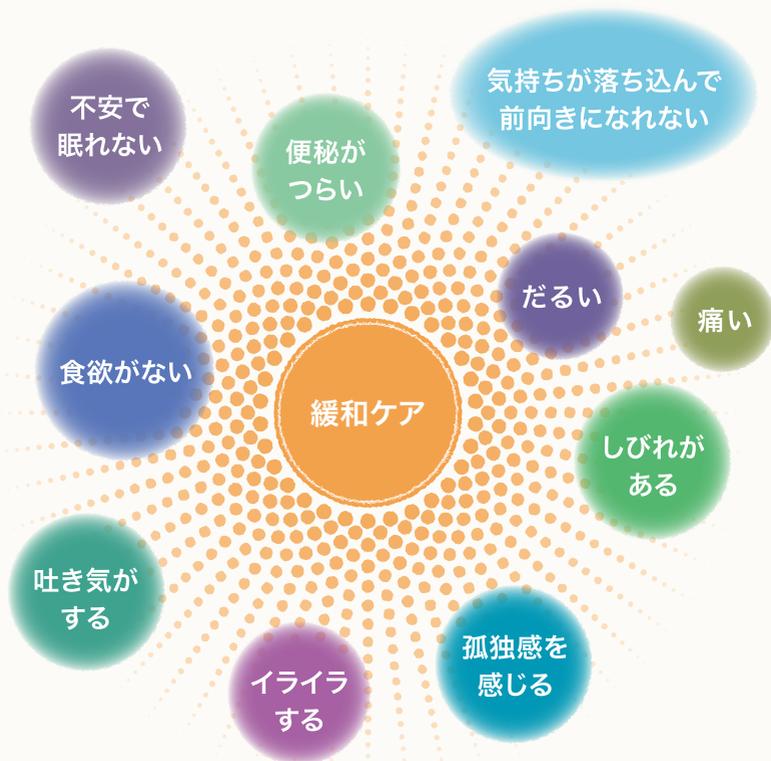


1. 痛みやつらさを和らげる

(1) 緩和ケア

緩和ケアの役割は、時期にかかわらず、がんに伴う心と体の痛みを和らげ、患者さん、ご家族が「自分らしく」過ごせるように支えることを目指します。



がんと診断されて間もない時期から、このようなつらい症状を「和らげる」ことで、それぞれの患者さんの生活が保たれるように、医学的な側面に限らず、幅広い対応をしていきます。

外来・入院・在宅でも受けられますので、まずは、がん相談支援センターに相談してみてください。

📞 問い合わせ先 がん相談支援センター ➡ P10

(2) 緩和ケアチーム

緩和ケアチームは、痛みや吐き気などのつらい身体症状や、不安・落ち込みなどの精神的な苦痛を和らげ、患者さんにご家族が安心して治療に取り組んだり、自分らしい生活をおくったりできるように支える専門チームです。医師、看護師（緩和ケア認定看護師）、薬剤師、ソーシャルワーカー、心理士など、さまざまな専門家が協力し、担当医や看護師などと協働して、痛み管理、症状の緩和、心理的なサポート、家族や介護者への支援などを提供します。

終末期だけでなく、がんと診断された時点から、患者さんにご家族の生活の質を向上させるためにサポートする重要な存在です。



📖 コチラもCheck! 『がんになったら手にとるガイド』

➡ 「緩和ケアについて理解する」